

佐伯市防災講演会において講師を務めました（2019/9/29）

テーマ：南海トラフ巨大地震、都市リスク、災害リスクマネジメント
場所：佐伯市保健福祉総合センター 和楽（大分県佐伯市）

2019年9月29日、大分県佐伯市にて開催された佐伯市防災講演会において、当研究所の村尾修教授（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）が講師として「南海トラフ巨大地震と佐伯市の都市リスク」と題した講演を行いました。

佐伯市では行政が中心となり積極的に防災に取り組んでおり、市民や職員を対象として定期的に講演会も主催しています。村尾教授は防災・復興の研究プロジェクトの一環として佐伯市を2度訪れており、市との連携を図って参りました。

今回は、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると予想されている南海トラフ巨大地震を想定し、災害をイメージすることの重要性と街の災害マネジメントに必要な考え方について話しました。講演の途中には、約245名の参加者に対し、「強い揺れを感じたら、どんなことが起こると思いますか？」という簡単な質問を行い、災害時における対応は設定条件（地震が起こる場所・時間・立場など）によっても違うため、イマジネーションを持つことが大事だとうことを実感していただきました。また、佐伯市における防災活動についても説明し、災害リスクマネジメントの重要性について理解を深めてもらうことが出来ました。今後もこのような機会を積極的に設け、社会貢献にも務める所存です。



開催案内ポスター



村尾修 教授



会場の様子



参加者の様子